



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月5日

上場会社名 昭和鉄工株式会社 上場取引所 福  
 コード番号 5953 URL <http://www.showa.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本駿一  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 一木和弘 (TEL) 092-651-2933  
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	8,119	11.2	△87	—	36	—	490	—
25年3月期第3四半期	7,303	△5.8	△263	—	△287	—	△210	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 608百万円(—%) 25年3月期第3四半期 △244百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	58.13	—
25年3月期第3四半期	△24.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	15,127	3,958	26.2
25年3月期	13,970	3,311	23.7

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 3,958百万円 25年3月期 3,311百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,400	12.6	0	—	100	—	420	749.9	49.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

26年3月期3Q	8,970,000株	25年3月期	8,970,000株
26年3月期3Q	537,921株	25年3月期	536,900株
26年3月期3Q	8,432,287株	25年3月期3Q	8,439,693株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビューは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府及び日銀による経済政策・金融政策の推進などで円高の是正や株価の上昇が進み、輸出産業を中心に企業収益に改善が見られ景気回復に期待感を与えるものの、短期的には円安に伴う原材料価格の高騰や中国など新興国経済の成長鈍化、今春の消費税増税による景気下振れリスクなど懸念材料も多く、実態は依然としてデフレ状況にありました。

このような情勢の中で当社グループは、中期経営計画「リカバリー130」の最終年度として、重点課題である「差別化した新製品・サービスの拡販」に努めるとともに、固定経費の徹底した削減と製造工程改善による限界利益の向上に取り組んでまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、81億1千9百万円（前年同期比11.2%増）となりました。

損益面につきましては、業績の進捗はほぼ計画どおり、営業損失は8千7百万円（前年同期は営業損失2億6千3百万円）、経常利益は3千6百万円（前年同期は経常損失2億8千7百万円）となりました。また、特別利益に固定資産売却益等9億3千6百万円、特別損失に事業構造改善費用等3億6千1百万円を計上した結果、四半期純利益は4億9千万円（前年同期は四半期純損失2億1千万円）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

## ・機器装置事業

機器装置事業につきましては、熱源機器は電力需給逼迫等の影響により特に「業務用エコキュート」の売上が低調に推移しましたが、サーモデバイス機器は液晶パネルメーカーの設備投資需要が堅調で受注案件が計画以上に出荷・売上計上できたことにより好調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は48億1百万円（前年同期比5.1%増）となりました。

## ・素形材加工事業

素形材加工事業につきましては、鋳造品はやや低調に推移しましたが、景観製品は前年度の受注案件が予定どおり順調に出荷・売上計上できたことにより好調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は17億2千3百万円（前年同期比42.0%増）となりました。

## ・サービスエンジニアリング事業

サービスエンジニアリング事業につきましては、設備工事はやや低調に推移しましたが、有料サービス及びリニューアル工事の売上が営業強化により順調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は15億9千4百万円（前年同期比4.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第 3 四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ11億5千7百万円増加し151億2千7百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が2億3千6百万円、投資有価証券が15億3千6百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が1億円、有形固定資産が4億6千4百万円減少したことによるものであります。

負債については、前連結会計年度末に比べ5億1千万円増加し111億6千9百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が3億6千4百万円、流動負債「その他」が9千4百万円増加したことによるものであります。

純資産については、前連結会計年度末に比べ6億4千7百万円増加し39億5千8百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が5億2千8百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年 3 月期通期の連結業績予想につきましては、平成25年11月 6 日に公表いたしました予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,831	3,068
受取手形及び売掛金	3,562	3,461
商品及び製品	276	348
仕掛品	747	747
原材料	355	336
繰延税金資産	44	—
その他	195	158
貸倒引当金	△1	△4
流動資産合計	8,012	8,116
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,611	1,584
その他(純額)	1,331	894
有形固定資産合計	2,943	2,479
無形固定資産		
	49	41
投資その他の資産		
投資有価証券	2,394	3,930
その他	598	587
貸倒引当金	△27	△27
投資その他の資産合計	2,964	4,490
固定資産合計	5,958	7,010
資産合計	13,970	15,127
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,257	2,621
短期借入金	4,420	4,620
未払法人税等	26	67
その他	755	849
流動負債合計	7,459	8,159
固定負債		
長期借入金	910	690
退職給付引当金	1,643	1,641
繰延税金負債	34	62
その他	611	614
固定負債合計	3,199	3,009
負債合計	10,659	11,169

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年 3 月31日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,641	1,641
資本剰余金	1,225	1,225
利益剰余金	398	927
自己株式	△87	△88
株主資本合計	3,177	3,705
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	121	211
為替換算調整勘定	12	41
その他の包括利益累計額合計	133	252
純資産合計	3,311	3,958
負債純資産合計	13,970	15,127



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第 3 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年12月31日)
売上高	7,303	8,119
売上原価	5,727	6,251
売上総利益	1,576	1,867
販売費及び一般管理費	1,839	1,955
営業損失 (△)	△263	△87
営業外収益		
受取利息	6	10
受取配当金	38	51
持分法による投資利益	7	113
その他	16	18
営業外収益合計	68	193
営業外費用		
支払利息	66	60
その他	26	8
営業外費用合計	92	69
経常利益又は経常損失 (△)	△287	36
特別利益		
子会社株式売却益	110	—
固定資産売却益	—	934
投資有価証券売却益	—	1
特別利益合計	110	936
特別損失		
固定資産廃棄損	—	6
事業構造改善費用	—	326
130周年記念事業費	—	28
特別損失合計	—	361
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	△176	611
法人税、住民税及び事業税	33	77
法人税等調整額	—	44
法人税等合計	33	121
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△210	490
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△210	490

四半期連結包括利益計算書  
第 3 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 (△)	△210	490
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△34	88
持分法適用会社に対する持分相当額	0	29
その他の包括利益合計	△34	118
四半期包括利益	△244	608
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△244	608
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	機器装置事業	素形材加工事業	サービスエンジニアリング事業	
売上高				
外部顧客への売上高	4,568	1,213	1,522	7,303
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8	8	57	73
計	4,576	1,221	1,580	7,377
セグメント利益又は損失 (△)	△94	△217	48	△263

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△263
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△263

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第 3 四半期連結累計期間(自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	機器装置事業	素形材加工事業	サービスエンジニアリング事業	
売上高				
外部顧客への売上高	4,801	1,723	1,594	8,119
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8	8	66	83
計	4,809	1,731	1,661	8,202
セグメント利益又は損失 (△)	△90	△49	52	△87

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額
報告セグメント計	△87
四半期連結損益計算書の営業損失 (△)	△87

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「素形材加工事業」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第 3 四半期累計期間においては230百万円であります。